

## 産業廃棄物処理計画書

令和 7 年 6 月 13 日

新潟県知事 殿

提出者

住所 新潟県北蒲原郡聖籠町東港六丁目861-5

氏名 グローバルウエーハズ・ジャパン株式会社  
新潟工場長 村田 光昭

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 025-256-03200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	グローバルウエーハズ・ジャパン株式会社
事業場の所在地	新潟県北蒲原郡聖籠町東港六丁目861-5
計画期間	令和 7 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで

## 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	電器機械器具製造業
② 事業の規模	売上高 494億円(2024年度実績)
③ 従業員数	923名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・汚泥 自社の排水処理(中間処理:汚泥脱水機)⇒セメントメーカーへ処理委託⇒原材料として再資源化 再生処理業者へ委託⇒原材料として再資源化 最終処分業者へ委託⇒最終処分(埋立)</li><li>・廃プラスチック 再生処理業者へ委託⇒原材料として再資源化 熱回収業者へ委託⇒ボイラ燃料としてリサイクル 最終処分業者へ委託(酸・アルカリ付着物)⇒最終処分(焼却等) 再生処理業者へ委託(再生不可能廃プラ)⇒破碎選別処理⇒最終処分(埋立)</li><li>・木屑 再生処理業者へ委託⇒木材チップとして再資源化</li><li>・ガラス陶磁器屑 再生処理業者へ委託⇒石英カレット屑及び石英粉のリサイクル 最終処分業者へ委託⇒最終処分(埋立)</li><li>・金属屑 再生処理業者へ委託⇒破碎後、金属・非金属に分別⇒金属は売却、非金属は最終処分(埋立)</li></ul>

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙管理体制図のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
	排出量	28,292.86 t	1.77 t	7.28 t	1.17 t	143.08 t	3.21 t	33.69 t	16.78 t
② 計画	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品 産業廃棄物	廃電池類					
	排出量	51.23 t	0.17 t	0.23 t					
(これまでに実施した取組)									
汚泥中間処理：脱水汚泥の含水率の低減：凝集剤の最適注入率化等継続実施中。 古紙リサイクル回収の推進実施中。									
【目標】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
	排出量	28,292.86 t	1.77 t	7.28 t	1.17 t	143.08 t	3.21 t	33.69 t	16.78 t
② 計画	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品 産業廃棄物	廃電池類					
	排出量	51.23 t	0.17 t	0.23 t					
(今後実施する予定の計画)									
汚泥中間処理：脱水汚泥の含水率の低減：凝集剤の最適注入率化等継続実施する。 蛍光灯のLED化を継続実施する。 ※昨年度と比較して本年度の生産量が1.0倍増の計画に伴い、産廃各搬出量は、昨年度実績の1.0倍とする。									

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	<p>廃プラスチックの分別を継続実施中。 例：出荷ケースの有価物化、使用済みポリ容器のリサイクル化の継続実施。</p> <p>金属屑の分別の継続実施。 例：現場盤の電器部品、電線類も分別回収し、有価物として売却継続実施中。</p>								
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)								
	上記の分別を継続実施する。								

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃電池類					
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃電池類					
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
現在予定なし。									

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	24,857.13 t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃電池類					
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)									
汚泥中間処理：脱水汚泥の含水率の低減：凝集剤の再選定とその最適注入率化等。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	24,857.13 t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃電池類					
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
汚泥中間処理：脱水汚泥の含水率の低減：凝集剤の最適注入率化の継続等。 ※昨年度と比較して本年度の生産量が1.0倍増の計画に伴い、産廃各搬出量は、昨年度実績の1.0倍とする。									

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃電池類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(これまで実施した取組)									
実施していない。									
【目標】									
② 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃電池類					
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の計画)									
今後も実施予定なし。									

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（6年度）実績】									
① 現状	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず
	全処理委託量	3,435.73 t	1.77 t	7.28 t	1.17 t	143.08 t	3.21 t	33.69 t	16.78 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,632.69 t	1.77 t	7.28 t	1.17 t	117.54 t	3.21 t	33.69 t	16.78 t
	再生利用業者への処理委託量	3,275.53 t	1.77 t	7.28 t	1.17 t	117.54 t	3.21 t	33.69 t	16.78 t
	認定熱回収業者への処理委託料	2.33 t	0.49 t	0.00 t	0.00 t	2.13 t	0.00 t	0.00 t	0.17 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃電池類					
	全処理委託量	51.23 t	0.17 t	0.23 t	t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	2.12 t	0.17 t	0.15 t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	51.23 t	0.17 t	0.23 t	t	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	t	t	t	t	t	
(これまで実施した取組)									
汚泥中間処理：脱水汚泥の含水率の低減：凝集剤の最適注入率実施。 廃プラスチックの分別を継続実施。 例：アルミ系容器包装の有価物化、一部のビニール類の有価物化の実施。 例：出荷ケースの有価物化、使用済みポリ容器のリサイクルの実施。 例：最終処分していた研磨布、ニトリル手袋のリサイクルの実施。 金属屑の分別を実施。 例：製造装置、OA機器、電線類を有価物として売却実施。									

【目標】											
① 計画	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック	紙くず	木くず	金属くず		
	全処理委託量	3,435.73 t	1.77 t	7.28 t	1.17 t	143.08 t	3.21 t	33.69 t	16.78 t		
	優良認定処理業者への処理委託量	1,632.69 t	1.77 t	7.28 t	1.17 t	117.54 t	3.21 t	33.69 t	16.78 t		
	再生利用業者への処理委託量	3,275.53 t	1.77 t	7.28 t	1.17 t	117.54 t	3.21 t	33.69 t	16.78 t		
	認定熱回収業者への処理委託料	2.33 t	0.49 t	0.00 t	0.00 t	2.13 t	0.00 t	0.00 t	0.17 t		
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t		
	産業廃棄物の種類	ガラス・陶磁器くず	水銀使用製品産業廃棄物	廃電池類							
	全処理委託量	51.23 t	0.17 t	0.23 t							
	優良認定処理業者への処理委託量	2.12 t	0.17 t	0.15 t							
	再生利用業者への処理委託量	51.23 t	0.17 t	0.23 t							
	認定熱回収業者への処理委託料	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t							
	(今後実施する予定の取組)										
	<p>汚泥中間処理：脱水汚泥の含水率の低減：凝集剤の最適注入率化継続実施。          廃プラスチックの分別を継続実施する。          例：アルミ系容器包装、及び一部のビニール類の有価物化の継続実施。          金属屑の分別を継続実施する。          例：現場盤の電器部品、電線類も分別回収し、有価物として売却実施。          蛍光灯のLED化の計画的更新実施。  <b>※昨年度と比較して本年度の生産量が1.0倍増の計画に伴い、産廃各搬出量は、昨年度実績の1.0倍とする。</b></p>										
	※事務処理欄										

第 2 面 業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図について）

公害防止統括者	所属:グローバルウェーハズ・ジャパン株式会社 職:工場長
廃棄物管理担当	組織名:安全衛生・環境グループ 職:グループ長 組織人数:安全衛生・環境担当 4名
役割	環境・省エネ委員会 ○廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長－工場長 ・委員－関連部署部長 ・事務局－新潟工場 安全衛生・環境グループ
	廃棄物担当 ○廃棄物処理方針の策定 ○工場の廃棄物管理規定の策定・改廃 ○廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認 ○廃棄物処理計画の作成 ○廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○委託契約の締結 ○産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付・管理 ○監督官庁への各種報告 ○社員、関連会社に対する教育・啓発 ○その他関係する事項

環境関係組織体制図

